

心豊かな暮らし

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

縁_{en}

2017 Vol.42 spring





牡丹園入口

季刊
縁_{en} 2017 Vol.42 spring

contents

P 3 >>
住むほどに木のぬくもりを実感する、のびやかな住まい
岐阜県大垣市 M邸

P 7 >>
矢橋の分譲住宅 「RESIDENCE 昼飯」
麗しき住環境の創造

P 11 >>
工場緑化
矢橋テクニカルセンター 垂井工場

P 13 >>
名古屋ショールーム 「三豊居」
戸建・マンションリノベーション

連載
中山道赤坂つれづれの記 文/故 清水春一
谷木因(一)

心豊かな暮らし

史跡 赤坂お茶屋屋敷

牡丹園

当園の牡丹は、明治・大正・昭和にかけて故矢橋龍吉翁が史跡赤坂お茶屋屋敷内の花畑に、自然を愛し、種々の優雅な草木とともに昔ながらの有機農法のもと、丹精込めて栽培してきたものです。
春に見頃を迎える牡丹だけではなく、黄金柏や御衣黄など、様々な木々や花があり、新緑や紅葉、冬に咲く寒牡丹など一年を通して自然の美しさを感じられます。門は、一年中開け放しです。
心おきなくご来園いただき、四季の移ろいを感じてください。



牡丹の株数／約800本 種類／約90種 規模／10,573㎡(約3,200坪)
見頃／4月～5月(寒牡丹12月～1月) ※見頃は目安であり天候等により異なります
史跡 赤坂お茶屋屋敷跡 牡丹園 〒503-2213 岐阜県大垣市赤坂町3421-1



心豊かな暮らし

02



01

01 大きな吹抜けのあるリビング。1階のみでも生活ができるよう、寝室が隣接している。矢橋オリジナル造作収納を設け、上には、母の代から受け継いだという雛人形が飾られている
02 広々とした空間が人を招き入れる玄関。のれんの先にはたっぷり収納できる便利な土間収納が 03 友人を呼んで、おうちカフェを楽しむMさん 04 ずりばいを覚えたお子さんが、無垢フローリングの上をのびのびと動き回る 05 階段を上った先には、吹抜けに繋がるファミリースペース。子どもが大きくなったら便利に使えるようにと洗面スペースも設置。南向きの窓から日差しが入り、洗濯物の部屋干しにも重宝していると夫妻



05



04



03

住むほどに木のぬくもりを実感する、のびやかな住まい

岐阜県大垣市 M邸

「この家に暮らし始めてもうすぐ3年ですが、暮らしやすく、無垢フローリングも気持ちよくて満足」というMさんは、“木のぬくもりを感じる”ことを大前提に家づくりに取り組まれた。子どもが小さい時、そして巣立った後も暮らしやすいようにと、寝室を1階リビングに隣接して設けた。北側にまとめた水廻りから家事室、クローゼット、寝室へ通り抜けられるよう工夫され、1階だけでも生活が完結できて使い勝手が良いと奥さん。回遊性のある間取り、1階と2階を縦にゆったり繋げる吹抜け、ファミリースペースは広がりを感じられ、のびやかに住まうことができる。

家づくりのプロセスも楽しめ、「家ができていく様子を、毎週見に行っていた」と夫妻。「アパートで育ったので、室内に階段がある家が初めて。家が建つを見て、一軒家を持てたという実感が生まれた」とご主人。こだわった家具は遠方まで実物を見に行くなど、時間をかけて選ばれたそう。仕事や子育てをしながらも、お風呂の坪庭を眺めてほっと一息つく瞬間があったり、毎日心豊かに送っていることが、夫妻の穏やかな笑顔から伝わってきた。



KAI
懐

14

家づくりのプロセス

>> 調印式

初めてお越しいただいた時に気に入ったという「懐」モデルハウスにて、契約を行いました。



>> シュミレーション体験

建てる家のイメージパースを確認。設計士とも直接話し、具体的にイメージできて楽しめたそう。



>> 地鎮祭

いよいよ着工。お施主様からのメッセージを心に刻み、職人が丁寧に家づくりをしています。



>> 引渡式

住宅が完成し、ついに引渡し。
新生活がスタートしました。



家づくりを一緒に楽しませていただきました



営業担当
住宅部 細野喬太

仲が良く落ち着いた空気感を持ったご夫婦とは、毎週楽しく打合せをさせて頂きました。M様との家づくりは、打合せからお引き渡しまで6カ月という、非常に凝縮された半年間でした。関わったすべての方とM様の協力を得たからこそ、無事引き渡しの日が迎えられたのだと感じております。モデルハウスやショールームだけでなく、設計室での打合せもあり、何もない土地に少しずつ理想の家が出来上がっていく過程を営業の私も一緒になって楽しめたように思います。ご家族が増え、今後も変化していくライフスタイルの中、家とともに素晴らしい時間を過ごして頂ければ幸いです。ありがとうございます。



12



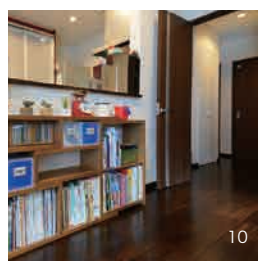
06



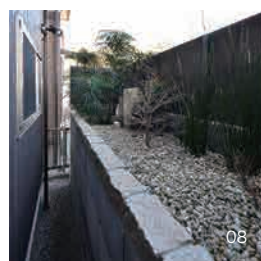
07



13



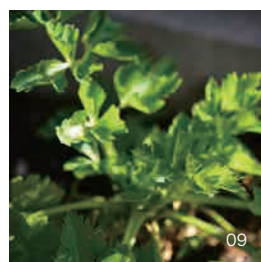
10



08



11



09

06 2階の吹抜けからリビングを見下ろす。南向きの窓から光が入る明るい空間 07 ご主人がくつろぐ場所が欲しいと、お風呂の窓から眺められる坪庭 08 高さを上げ、目線が合うようにと工夫された坪庭 09 庭の家庭菜園で育つセロリ。1年目はトマトとバジル、2年目はナスとキュウリ、今年はセロリと枝豆...毎年違う野菜作りを楽しんでいる 10 キッチン裏に設置した本棚は、飾り棚としても。廊下には収納があり、日用品をたっぷり収納できる 11 常備薬など毎日必要で散らかりやすいものを収納できるように寸法ぴったりのニッチ棚をダイニングに設置 12 ダイニング。手作りのお菓子を味わい、ほっと一息 13 開放感のあるファミリースペースで絵本の読み聞かせを。今後はお子さん用の遊具を置きたいそう 14 モデルハウスを見て気に入ったという懐シリーズ。軒の長い屋根と格子が印象的な外観

RESIDENCE HIRUI

四季の移ろいを感じる街並み

一邸一邸の庭が、季節ごとに楽しめる植栽、食べられる実のなる木などでつくられており、庭がつながり、四季の移ろいを感じる心地よい街並みとなるように設計しています。



矢橋の分譲住宅

うるわ 麗しき住環境の創造 ～Residence series～

レジデンス ポリシー

Residence Policy

現在、一般的に家を建てるフローは完成した家の見学から始まるケースが多いのではないかと思います。家はある場所の、ある地盤強度の上に建っているという事を忘れがちです。つまり、どこに建てるのか？はむしろ最も重要な事なのだと思います。まず、安心、安全。

次に緑豊かな環境があり、出来るだけ便利という順番で考えるべき事だと思います。

たとえ建替えを検討していたとしても、まず今の場所が安心、安全な場所であるのかを考えてみるべきなのです。そして住んでみたいと思えるような場所をイメージすべきだと思います。

我々は「心豊かな暮らし」への第一歩は、ここなら住んでみたいと思って頂けるような場所を見つけ出し、創造できるのかです。安心安全であり、美しい風景があり、将来出来るであろう「心の通じ合う」コミュニティが想像できるような場所をご提供しなければならないと考えております。遠くから我が家を見ると緑の木々に囲まれた一つの邸宅(Residence)のように見える。そのような街を作りたいと思っています。そこにお住まいになる方々は「心豊かなコミュニティ」が自然と醸成されていく、そんな街を理想としています。

土地を選び、「心豊かな暮らし」という理想の暮らしが出来る場所を、住宅のモデルハウスを造るように、単に土地分割ではない、麗しき場所(土地)を造り上げるポリシーを持たなければならないと思っています。



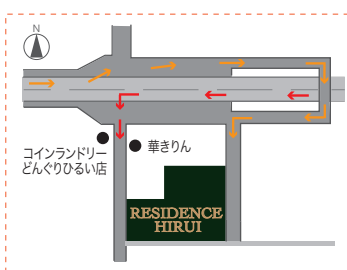


RESIDENCE HIRUI I NAGOMI



RESIDENCE HIRUI Opening Fair

4/29_{sat}・30_{sun}・5/3_{wed}・4_{thu}・5_{fri}・6_{sat}・7_{sun}



■物件概要 ●岐阜県大垣市屋敷町字東町田419番1～●開発面積/1922.8㎡●総区画数/7区画●今回販売区画数/2区画●敷地面積/174.74㎡●販売価格/820万円～890万円●用途地域/第1種住居地域●地目/宅地●建ぺい率/60%・70%●容積率/200%●道路幅員/6m●水道/公営上水道●排水/公営下水道●ガス/個別プロパン●電気/中部電力●取引形態/売主※パースはイメージです

[公園]
■玉池公園……………約1,000m
■屋敷大塚古墳歴史公園……………約800m
■赤坂お茶屋屋敷跡……………約1,500m
■美濃国分寺跡……………約1,800m

Life Information

[交通機関]
■JR美濃赤坂線 荒尾駅……………約2,000m
■東海環状線道路大垣西I.C……………約2,700m

[教育・公共施設]
■青墓幼稚園……………約850m
■青墓小学校……………約850m
■赤坂中学校……………約1,600m
■青墓地区センター……………約280m

[金融機関]
■JAにしみの 青墓支店……………約1,000m
■十六銀行 赤坂支店……………約2,000m
■大垣西濃信用金庫 荒尾支店……………約1,400m
■大垣共立銀行 赤坂支店稲葉出張所……………約2,100m
■青墓簡易郵便局……………約1,100m
■カネスエ敷地内ATMコーナー……………約200m

[医療機関]
■金森医院……………約1,200m
■大垣セントラルクリニック……………約1,700m
■いはらクリニック……………約550m
■けやきデンタルクリニック……………約850m

[ショッピング]
■カネスエ……………約200m
■ドラッグユタカ……………約200m
■セブンイレブン……………約300m

矢橋林業株式会社
YABASHI
住宅部 〒503-2122 岐阜県不破郡垂井町表佐 410-1 TEL.0584-22-0001
品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 認証取得企業
宅地建物取引業免許番号：岐阜県知事(12)第1306号 岐阜県宅地建物取引業協会会員 建設業許可番号：国土交通大臣許可(般-28)第26337号 東海不動産公正取引協議会加盟

「レジデンス 屋飯」のお問い合わせはこちらまで。
0120-884-039
<http://www.yabashi.co.jp/house/> 矢橋林業 検索



RESIDENCE HIRUI II YUURAKU



つながるコミュニケーション

視界が広がり、ご近所同士コミュニケーションが取り易い動線を確保。
つながりが感じられ、円を描くようなコミュニティがうまれる



お隣と共有する木々

プライバシーを確保しながらも、
できるだけオープンな庭をつくる
ことによりお互いに緑を共有できる



ゆるやかなカーブの道

道がゆるやかにカーブしているため、
スピードが出しにくく抜け道にもなり
にくいいため安全



集合駐車場

玄関先の緑が確保しやすいように、独立した駐車スペースを用意。もう一台停めたい時や、来客用の駐車スペースとしても活用できる



一年を通して美しいお庭

春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の木立。
アプローチの花壇には季節を彩る草花たち…
一邸ずつお庭のカレンダーを作成し、季節毎に変化する美しいお庭をご提案している



自然樹形が美しい山木

個性豊かな枝ぶりが楽しめる山木を取り入れることにより、
街に自然の雰囲気をつくりだす



街のエントランス

人々が集う麗しき街の入口は、緑で覆われている。
道路との高低差をつけることにより街全体に変化をもたらし奥行きを出している



VEGETABLE SHOP 余呉農園

日本の美しい原風景が残る滋賀県長浜市余呉町と岐阜県大垣市赤坂町で、栽培期間中農薬不使用有機肥料で育てた安全・安心で新鮮なお米や野菜を直売しています。



併設のカフェでは、米粉で作ったシフォンケーキ、ベトナムコーヒーやハス茶なども楽しんでいただけます。(メニューは季節により異なります)

ぎふっこカード

岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業に参加しています
ご来店の際、カードをご提示いただくと特典がございます
(特典内容は店内にてご確認ください)



VEGETABLE SHOP 余呉農園

所在地: 岐阜県不破郡垂井町表佐410-1 (矢橋テクニカルセンター内)
営業日: 土・日 10:00~16:00 駐車場: 有り

お問い合わせ
TEL: 0749-86-3021
E-mail: yogo@mail.yabashi.co.jp
三星砥業株式会社 余呉農園

チルチンびと広場
に加盟しています
http://www.chilchinbito-hiroba.jp

矢橋テクニカルセンター内 案内図



工場見学随時受付中

垂井工場・屋敷工場を見学。昼食・お土産付!
「VEGETABLE SHOP余呉農園」
にも立ち寄ります。

見学をご希望の方は、ご連絡ください。
矢橋林業㈱ 住宅部 0120-884-039

矢橋の工場をぜひご覧ください



景観デザイン

矢橋の家のポリシーであり、住宅のテーマは「心豊かな暮らし」です。

「心豊かな暮らし」を実現するための重要な要因の一つが景観です。住宅のみではなく、お庭のデザイン、周囲の景観などを含めた住環境をデザインしていかなければならないと思っています。「街づくり」の第一歩は「ここに住みたい」と思える場所を創造することであると考えております。

最近では「うるおひの丘」に101区画の「街」をつくらせて頂きました。ご好評を頂き既にモデルハウスを残して完売しております。100区画近い街だけではなく、小さな集落にも美しい村は日本には沢山あります。10区画前後の土地を美しく、住みたいと思える風景にデザインすることが「矢橋の街づくり:Residence」であります。

採算効率だけで区画を割るのではなく、美しく住みたいと思える場所にすること、ご近所とのコミュニケーションが取りやすい環境をデザインすることが、大切だと考えております。「心豊かな暮らし」を実現するために、分譲地のデザイン開発と言う新しい価値を創造して参りたいと思っています。また、「心豊かな暮らし」をするための、夢のある家の材料を作る矢橋の工場は「心豊かに働く」場所でありたいと思っています。工場も美しい景観の中にあるべきだと思っています。そしてお客様が行ってみたいと思える様な環境の工場にすべく、景観をデザインし、余呉農園をはじめ景観整備工事に着工しております。是非とも多くの方々に弊社の垂井工場へご見学いただきたくお願い申し上げます。

矢橋林業株式会社
代表取締役社長 矢橋龍宜

工場緑化

矢橋テクニカルセンター 垂井工場

弊社では、工場緑化を推進しています。
地球温暖化防止や騒音、振動の軽減だけでなく、地域の方々の住環境を向上させ、工場内で働く社員をも癒してくれる自然豊かな緑。
垂井工場(構造材プレカット工場)と同じ敷地内には、カフェ併設のお米や野菜の直売所である「VEGETABLE SHOP余呉農園」を工場緑化の一環として自社にて設計・施工しました。



製品ヤード



垂井工場内



矢橋テクニカルセンター入口



OU MODEL



NAGOMI MODEL



YUURAKU MODEL



木と土と石を使った
近代西洋建築の復刻モデル



夫婦二人で暮らしを
楽しむ為の「終の棲家」



四季を感じ本物を取り合わせ自分らしく
住まいを彩り上質な暮らしを楽しむ家



弊社グループ会社のVINAWHITE
(ピナホワイト)木工加工部門にて、
ベトナム人技能者を育成し、その技
能を活かして建材の加工やフロー
リングの塗装などを行ってきたい
と考えています。

「心豊かな暮らし」を実現する「矢橋の家」をご理解
頂けるお施主様との出会いをめざして開設をした
名古屋ショールーム。
このショールームは弊社のモデルである「欧」「悠楽」
「和」の3タイプの造作を施しています。また、矢橋工房
の商品なども常時展示をし、矢橋のデザインポリ
シーと雰囲気をご理解頂けるような設えを致してお
りますので、是非一度お越し下さい。



名古屋ショールーム「三豊居」 (さんぼうきょ)
TEL. 052-870-9290 営業時間: 10:00 - 18:00
定休日: 水・木(盆・年末年始)
<http://www.yabashi.co.jp/house/>



戸建・マンションリノベーション 木の温もりを感じる空間にしませんか。Renovation



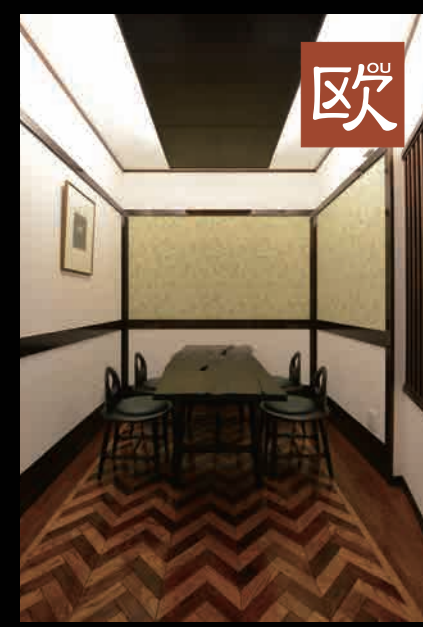
矢橋林業 名古屋ショールーム

三豊居

- 応接室・リビング等の床を矢橋オリジナル無垢フローリングに
- キッチンカウンターを無垢材に
- ダイニングに矢橋オリジナル囲炉裏テーブルを



矢橋オリジナル
無垢キッチンカウンター



和
NAGOMI

谷木因(一)

うみゆり連載集 中山道赤坂つれづれの記 故清水 春一

今年(一九八七年)は、お陰さまで、台風も来なくて穏やかな秋を迎えることができたので、久々に金生山に登り、虚空蔵さんに参拝する機会に恵まれ、お彼岸も無事済んだ晴れた二日、暑さなし寒さなしの好日、本紙広報長の矢橋喜さんと同道させていただきました。

山麓からの虚空蔵道と呼ばれ親しまれている山坂道の沿道は、昔の面影は全くありません。特にも淋しく感じたのは、空気汚染の影響なのか、昔懐かしい松の樹が殆ど姿を消してしまっていることでした。

元禄時代、芭蕉と親交のあった谷木因は、折にふれては金生山へ登り虚空蔵さんへ参拝、何かの記念に道案内の石仏さまを二丁目、二丁目、三丁目と、明星輪寺まで十二丁の所要所要に合計十二体建立しました。ある石仏の右肩には「六丁」の文字と、右側面に大垣舟町、左側面に「谷九太夫」と刻まれており、三百年の星霜を静かに物語っていました。

俳文学美濃派の先駆者

そこで谷木因をご紹介します。矢橋

木巴の俳諧の師匠が大垣船町の谷木因(九太夫)であったことは先にご紹介しました。貞享、元禄(六八四〜一七〇四年)ころ俳聖芭蕉と同門の弟子同士であり、以来親しく交友が深められました。

木因を訪ねて再三再四、大垣、赤坂をはじめとして美濃の各地を訪れた芭蕉の影響をうけて、美濃では全国でも珍しいほど俳文学が盛んになり、蕉風と呼ばれる流儀をうけついで「美濃派」の俳諧が一派を築き上げました。それが三百年も経た今日まで、伝統が継承され拡大されて、途中の消長はあってもなお、多くの俳人を育てつつあるということは並大抵なことではなく、実に驚くべき偉大な力であるといえましょう。全くそれは立派な文化であり、誇り得る美濃人気質の一面を物語るものでもあると思います。

そもその始まりは、谷木因と松尾芭蕉の友情が基礎になって育まりました。加えて中山道赤坂宿の素封家である矢橋交慰(三郎兵衛)と嗣子木巴(藤十郎)の父子が同じ京都の北村季吟門下生であり、互いに芭蕉、木

因とは先輩、同輩、後輩といった間柄であったことが大きくプラスしたことは想像に難くありません。

一般的にいわれる美濃派の始祖は、建前として芭蕉が第一世ですが、実際には各務支考が基礎を築きました。当時美濃の俳諧の盛況を支え、育んだ背景として大きかったのは、全国的にも類例のない大垣藩というバックがあったことです。大垣藩士たちの多くが、しかも幹部クラスの武士が、木因の影響をうけ、或いは江戸詰という好条件に恵まれて芭蕉庵に弟子入りしました。数え上げれば、いろいろと多面的な理由が重なり合って、それがまた大垣のみならず美濃全域に盛り上がったとみるべきでしょう。

ともかくにも、時間的、空間的な拡大をみせて、独特な社会的広がりをもつ組織として確立した美濃派が、今また見直されてきていることは頼もしく嬉しい限りです。

さて、谷木因は貞享、元禄から宝永、正徳、享保の中ごろ(一七〇四〜一七五五年)へかけて大垣俳壇の先駆をなした人であるとともに、広

く美濃から尾張、伊勢、近江はおるか京、大阪から江戸にまで及ぶ全国的な交遊がありました。そうした中で、京都東本願寺法主の真如上人や三井寺の旭海大僧正、または、美濃高須の城主松平義行、加納城主安藤信行、四日市代官で琵琶湖の船奉行や京都町奉行をつとめた石原清左衛門らは、木因の弟子または弟子のような交際をしています。さらに全く他流の西山宗因とか井原西鶴なども非常に親しく、ときに潮干狩に招かれたり、何かとお互いに往来しているなど、木因の交遊の幅の広さを推察できます。



谷木因



矢橋林業株式会社